

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会



すべての災害は防ぐことができる

★今月の事故★

1. 事故の概要（就業中）

遊水地グラウンドで、自走式刈払機を使用し、傾斜角 20 度の法面の草刈りに取り掛かった。隣で作業中の者（かなり離れて作業中であった。）が異変に気づき駆け付けたところ、作業者が下面のグラウンド面で自走式刈払機の下敷きになっていた。刈払機の歯で頭部、顔面部を大きく損傷し亡くなった。

2. 事故の原因

法面を下から垂直に上り、法面上部の草を刈ろうとして、そのまま刈払機の自重でバックしてしまい支えきれずに約 50 cm の高低差のあるグラウンド面に落ち、その上に刈払機が落ち、下敷きになった。

3. 事故後の対応及び再発防止策

【センターの事故後の対応】

令和3年9月7日	町役場、町長への報告
令和3年9月10日	緊急理事会の開催
令和3年9月16日	安全適正就業委員会の開催

【センターの再発防止策】

令和3年9月9日及び13日	草刈事故防止講習の開催	草刈就業者全12名出席
令和3年9月15日	事故防止について（通知）と「安全就業のためのチェックポイント」を全会員に配布	
令和3年9月22日	刈払機メーカーによる安全講習会の開催	

【連合の再発防止策及びセンターへの指導】

全センターに重篤事故発生の通知及び安全対策定期点検の徹底を依頼した。

4. 全シ協から

先月に続き草刈機の事故が発生しています。大変痛ましい事故で関係者の皆様に心からお悔やみ申し上げます。今回のケースは、刈払機で傾斜角 20 度から自重でバックしてしまい支えきれず下敷きになってしまった事故でした。こうした事故が発生しないよう留意事項を以下について再掲しますので、徹底して作業に臨んでください。①作業に適した服装（安全帽、履物、服装、手袋保護めがねなど）の着用、②作業は十分な下見、現場確認（危険予測）と事故防止に必要な用具（刈払機、手刈、仕事を請け負わないなど）の選択、

さらに③複数人での作業体制、④刈払機講習会の受講の必須化により技術、意識の向上を図る。刈払機を使用する際は、取り扱いに十分に気をつけて、安全、安心して就業できる環境の確立をセンター一体となってご検討くださいますようお願いいたします。

令和3年9月（令和3年度）事故速報

(1) 重篤事故

9月は、2件の重篤事故報告がありました。9月までの累計で比較してみると、令和2年度の19件と比して令和3年度は12件と7件減少しています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では令和2年度の13件と比して8件と5件の減少となっており、就業途上については、令和2年度の6件と比して4件と2件の減少となっています。

9月報告分までの累計

令和3年度累計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				令和2年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	8(2)	5(1)	3(1)	8(2)	0(0)	就業中	13	5	8	13	0	
就業途上	4(0)	1(0)	3(0)	2(0)	2(0)	就業途上	6	5	1	3	3	
計	12(2)	6(1)	6(1)	10(2)	2(0)	計	19	10	9	16	3	

↳ 前年度比 63.2% ()は、当月報告分です。

※前月号（8月報告分）の8の事故について死亡と記載しましたが入院の間違いでした、お詫びして訂正いたします。

9月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
11	男 77歳	就業中 (入院)	8尺の三脚脚立に上がって2.5mの高さの枝伐採作業中、バランスを崩し転倒、落下。	○	—	—
12	男 73歳	就業中 (死亡)	遊水地グラウンドで、草刈を開始した。自走式刈払機を使用し、傾斜面20度に取り掛かった。隣で作業中の者が異変に気づき下面のグラウンド面で自走式刈払機の下敷きになっていた。	×	—	—

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

9月は、就業中の事故21件、就業途上の事故4件と、合計25件であり、昨年度同月の27件と比して2件の減少となっています。また、男女別では、男性は4件の減少となっており、女性は2件の増加となっています。

9月までの累計で比較してみると、昨年度の125件と比して、本年度は124件と1件の減少となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は86件で9件の減少となっており、就業途上は28件で2件の減少となっています。男女別では、男性は16件の減少となっており、女性は5件の増加となっています。

令和3年度9月分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		9月	累計	9月	累計	9月	累計	9月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等	7(10)	35(40)	7(9)	35(39)	0(1)	0(1)	72	74
	除草作業	4(1)	18(15)	3(1)	15(12)	1(0)	3(3)	77	75
	屋内・屋外清掃作業	4(5)	16(21)	1(2)	6(11)	3(3)	10(10)	72	74
	その他	6(4)	17(19)	4(2)	10(14)	2(2)	7(5)	78	77
	計	21(20)	86(95)	15(14)	66(76)	6(6)	20(19)	75	75
就業途上	交 徒歩	0(2)	8(9)	0(2)	2(5)	0(0)	6(4)	—	78
	通 自転車	2(2)	11(16)	0(2)	4(10)	2(0)	7(6)	76	79
	手 バイク	1(2)	7(4)	0(1)	4(2)	1(1)	3(2)	73	72
	段 自動車	1(1)	2(1)	1(1)	2(1)	0(0)	0(0)	62	71
	計	4(7)	28(30)	1(6)	12(18)	3(1)	16(12)	72	76
合 計		25(27)	124(125)	16(20)	78(94)	9(7)	36(31)	74	75

()は令和2年度同月の発生件数

※「植木・樹木の剪定等」の事故の累計件数については、「男性会員の6ヶ月以上(180日)の入院報告」が1件あったので、重篤事故(9月報告分)として計上し、その分(1件)を累計から差引きました。

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)。

※ シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないよう願います。

(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故(休業1ヶ月以上)

7月は仕事の型別では、「その他の運搬・清掃・包装等の職業」3件、「社会福祉の専門的職業」「家庭生活支援サービスの職業」「その他のサービス職業」「運搬の職業」がそれぞれ1件あり、合計7件でした。前年同月の14件と比較して7件の減少となっています。

7月までの累計で比較してみると、昨年度の31件と比して、8件の増加となっています。

また、男女別では、男性は20件で4件の増加となっており、女性は19件で4件の増加となっています。

なお、7月に死亡事故は1件(清掃の業務(中分類コード:76))ありました。

令和3年度7月分

仕事の型(中分類)	中分類コード	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		7月	累計	7月	累計	7月	累計	7月	累計
社会福祉の専門的職業	16	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	74	74
商品販売の職業	32	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	—	67
販売類別の職業	33	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	74
家庭生活支援サービスの職業	35	1 (1)	6 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	5 (1)	74	69
介護サービスの職業	36	0 (0)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	—	—
生活衛生サービスの職業	38	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	—	—
飲食物調理の職業	39	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	77
施設・ビル等の管理の職業	41	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	77
その他のサービスの職業	42	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	74	74
農業の職業	46	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	64
製品製造・加工処理の職業	54	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	—	—
機械組立の職業	57	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	78
自動車運転の職業	66	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	—	66
運搬の職業	75	1 (1)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	66	67
清掃の業務	76	0 (2)	5 (6)	0 (1)	2 (3)	0 (1)	3 (3)	—	73
包装の職業	77	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	75
その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	3 (9)	13 (14)	2 (7)	10 (10)	1 (2)	3 (4)	70	73
計	—	7 (14)	39 (31)	3 (9)	20 (16)	4 (5)	19 (15)	71	71

() は令和2年度同月の発生件数

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害(休業日数4日以上又は死亡)」、「派遣労働会員の通勤災害(休業日数4日以上又は死亡)」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害(業務・通勤ともに)が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。

(令和2年4月22日付 2全シ協発第12号により通知済)

鳥取県における安全就業の取組み

1 鳥取県シルバー人材センター連合の概要（令和2年度実績）

センター数	15団体（法人シルバー12拠点、小規模シルバー3拠点）
会員数	3,457人（男2,190人 女1,267人）
粗入会率	1.6%
受注件数	27,041（派遣を含む）
契約金額	1,202,415千円
就業実人員	3,347人
就業率	96.8%
就業延べ人員	270,942人（派遣含む）

2 事故発生状況（シルバー保険対象事故）

傷害・賠償損害事故発生件数

（1）団体傷害保険に係る事故発生件数

		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
傷害事故	就業中	19	23	13	18	21
	就業途上	2	3	2	0	0
	合計	21	26	15	18	21
	内重篤事故	0	0	0	0	0
強度率		0.08	0.09	0.06	0.04	0.06
度数率		15.83	19.91	12.87	10.94	16.82

（2）賠償責任保険に係る事故発生件数

		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
賠償事故	計	12	12	17	15	15
	財物	12	12	17	15	15
	身体	0	0	0	0	0

3 安全就業対策推進事業の具体的内容

（1）安全・適正就業推進委員会の開催

連合会理事2名、各SC事務局長または安全担当職員等9名、連合会事務局2名で構成し、年2回開催し、年度初めに当年度の安全・適正就業推進事業基本計画、安全・適正就業対策実施計画を策定し実行している。また、年度末に当年度の実施状況を振り返り、次年度の安全・適正就業推進事業基本計画を策定し、安全就業の徹底を図っている。



(2) 会員・センターに対する安全意識高揚のための啓発

7月を安全就業強化月間に設定し、会員や役職員から安全就業標語の募集を行い、207編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞5編と入選5編を選考し、安全就業研修会で表彰し、周知を図り安全意識の高揚を図った。

(3) 安全・適正就業研修会

「安全はすべてに優先する」ことを、連合会、各センターが一丸となって推進するため、毎年安全・適正就業研修会を開催している。令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の為、参加者を例年より減らし開催した。外部講師による講話「高齢者の生きがいと健康」、県内3センターからの事例発表「安全就業の取組」が有り、最後に参加者全員で「安全宣言」を唱和し、「安全はすべてに優先する」ことの推進を誓った。



安全・適正就業研修会

(4) 安全・適正就業推進委員会メンバーによる安全パトロール

「安全はすべてに優先する」との安全・適正就業推進基本計画の参考にするため、就業現場の安全・適正就業対策を確認するため、パトロールを実施している。今年度は4センターをパトロールし、3年間で15センター全部のパトロールを終了した。



安全パトロール

(5) 安全・適正就業指導員による安全パトロール

残り11センターに対して、主に剪定・伐木作業と草刈り作業を中心にパトロールをし、休憩時間に安全就業に関する資料を作業従事の会員さんに手渡し、転落、転倒防止や飛び石防止について説明し、安全就業の意識高揚を図っている。



安全パトロール後の会議

(6) 安全就業講習会の開催

会員を対象に、「飛び石事故防止」の為、県下3地区でハサミ切りの草刈機やバリカン式の草刈機を実際に使用する講習会を開催した。外部講師からは、機械の構造や修理方法だけでなく、飛び石の少ないチップソーや防護ネットの紹介と受講生が工夫している防護用具の説明もあり有意義な講習会となった。



安全講習会：講義



安全講習会：実技

(7) 今後の課題

事故撲滅のため、連合会、各センター役職員と会員さん全員に「効率優先」より「安全はすべてに優先する」を周知徹底させる必要がある。各会議、安全・適正就業推進委員会委員による安全パトロール、安全就業講習会や安全・適正就業指導員によるパトロール等を通じて、さらに安全就業意識の高揚を図り事故防止に努めたい。

鳥取県シルバー人材センター連合会様からの報告でした。
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

◆令和2年度損害賠償責任保険事故に係る調査の集計結果（続報）◆

先月号（9月号）に引き続きまして、先般、「令和2年度損害賠償責任保険事故に係る調査について」（令和3年7月13日付 3全シ協発第64号）により、令和2年度に保険給付があった損害賠償金額が1件あたり20万円以上の事故調査依頼をお願いし、集計結果について続報を報告いたします。

1 損害賠償金額（支払総額） 上位5件の事故内容

No.	性別	年齢	事故の状況	事故の発生原因	損害対象	①保険金額	②センター及び 会員負担金	合計金額 ①+②
1	男性	73	刈払機を使用し、除草作業をしていたところ、誤って人力除草範囲を刈払機で作業してしまったことから、コグマザサを刈り取ってしまった。	古墳周辺における機械除草範囲及び人力除草範囲の確認不足	古墳群に植栽されたコグマザサ（449.9㎡）	5,214,000	0	5,214,000
2	男性	72	刈払機で作業している横を他の会員が通過した為、刈払機の刃が左手首に当たり負傷した。	雑草が背丈以上伸び、二段刈りで作業している横を他の会員が通過した為、刈払機の刃が左手首に接触してしまった。	左手首の神経と筋切断	5,000,000	0	5,000,000
3	男性	68	駐車場を機械除草中、従業員の車4台に飛石で傷をつけた	作業場所の周囲の状況の確認不足及び防止ネットの未使用による。	車のボディー、ドア、フロント・リアガラス	4,843,736	0	4,843,736
4	男性	87	火災受信器の上部に蜘蛛の巣があり、除去しようと水をかけたところ、火災受信器が異常を感知した。発注者から受信器の交換の依頼があった。	作業場所の周囲の状況の確認不足。安易な判断。	火災受信盤	4,298,674	0	4,298,674
5	男性	75	刈払機で住宅周りの草刈り作業中に防草シートで隠れていた配管に刈払機で破損させ約400リットルの灯油が河川へ流れ出てしまった	住宅周りの灯油タンクや配管を確認し、注意を払っていたが、シートに隠れていた配管に気づかずに作業をしてしまった	灯油タンクの配管、河川へ灯油の流出	2,401,271	1,243,440	3,644,711

2 損害賠償金額（センター及び会員の負担額） 上位4件の事故内容

No.	性別	年齢	事故の状況	事故の発生原因	損害対象	保険金額	センター負担金	センター負担内容	会員負担金	会員負担内容	総合計
1	1.男性	75	1損害賠償金額（支払総額）上位5件の事故内容の5と同様			2,401,271	1,243,440	河川へ流出した灯油に関する処理費用	0	—	3,644,711
2	男性	70	水道施設を刈払機を使用し除草作業をしていたところ、誤って水位計のケーブルを切断した。	作業場所の周囲の状況の確認不足による。	水位計のケーブル	1,021,800	451,200	免責金10,000円と機材の経年劣化等による保険対象外の金額	1,000	一定金額以上の損害を与えた場合にペナルティの制度を設けており、一律1,000円としている。	1,474,000
3	男性	72	夜9時に駐車場入り口を施錠する所、駐車場には車が来ないと思い込み駐車場入り口のポールを上げて駐車場を施錠した時、入り口が開いている思った市民が入ってきて車損傷と駐車場閉鎖の為にポールを傷つけた。	9時までの勤務の所、勝手に判断して駐車所のポールを上げてしまったため	車の前面、フロントガラス、駐車止め用のポール	129,837	435,940	当センターのミスもあり保険対象外	30,000	当センターペナルティ規定により支払金額の10%、但し最大で30,000円負担による。	595,777
4	男性	84	建具職人による印籠襖という高価な襖であったものを、普通の襖のように解体。張替えを継続するも印籠襖の構造等良く理解していなかったため修復ができなかった。	特殊な襖の構造をよく理解していないのにも関わらず、張替え作業を継続してしまった。	部屋の仕切り印籠襖	275,670	317,260	総支払額のうち、賠償保険支払額と会員自己負担額を引いた差額分をセンターで支払い。	13,390	会員ペナルティ自己負担分	606,320

3 会員の負担金額について

表のとおり、令和2年度損害賠償保険事故（1件あたり20万以上の事故）514件のうち会員負担金額は会員負担がない事故0円が236件（45.9%）と最も多くなっている。会員負担金額がある事故は278件（54.1%）で、その内訳は「1万円」が141件（27.4%）と多く、「1千円」が58件（11.3%）以下は表のとおりです。

会員の負担金額	件数	割合
0円	236	45.9
1,000円	53	10.3
5,000円	34	6.6
10,000円	138	26.8
20,000円	7	1.4
30,000円	13	2.5
40,000円	1	0.2
50,000円	7	1.4
その他	25	4.9
合計	514	100

安全関係の頒布物のご案内

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

安全就業のためのチェックポイント



会員が安全に就業するための要点を、全カラー版でまとめたイラスト小冊子です。

A4判 32頁 (10部以上からの販売)
価格 税込 184円 (本体 168円+税)、送料実費

会員必携安全就業ハンドブック



安全就業の心得をはじめ、仕事別の安全対策などを分かりやすく解説したポケット版の会員必携ハンドブックです。
変形 B7判 (縦 12.5cm×横 7.6cm) 44 ページ
○全国版 (10部以上からの販売)
価格 税込 136円 (本体 124円+税)、送料実費

事故に学ぶ交通安全のポイント



交通事故の被害者にも加害者にもならず、いつまでも健康で”生涯現役”として活躍していただくため、事故事例に基づき、全カラー版でこの冊子を作成しました。

A4判 20頁 (10部以上からの販売)
価格 税込 220円 (本体 200円+税)、送料実費

この3冊は、安全就業の指針を示していますので、会員の皆さまお一人おひとりに、ぜひお持ちいただきたい頒布物です。

お問い合わせは 企画情報課宛、下記 FAX または電子メールでお願いします。

FAX 03-5665-8021 E-mail : zsk@sjc.ne.jp

★ご購入は、全シ協会員専用ページの「頒布物の購入申込み」メニューからお申込みください。

★個人でのご購入は、冊数、お名前、郵便番号、住所、電話番号を明記した FAX・電子メール・郵便ハガキでお申し込みください。

★仕様・価格等、予告なく変更する場合があります。

編集後記

10月に入っても夏日があったと思うと、秋を通り越し一気に冬が来たように気温の差が激しい10月前半でしたが、地域によっては、未だ真夏日が続いているところもあるようです。今年も「寒暖差疲労」の季節です。「寒暖差疲労」の症状としては、肩こり、めまい、冷えの悪化、食欲不振などで、高齢者や女性は筋肉量が少ないことなどから寒暖差疲労に陥りやすく、注意が必要だそうです。そして今年ももう一つ「寒暖差アレルギー」という言葉を耳にしました。「寒暖差アレルギー」の症状としては、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどアレルギー鼻炎に似ているけど目のかゆみ、充血等はなく、熱はないのにだるいなど。どちらも対策としてもっとも有効なのは体を温めること。シャワーだけで済ませずに、しっかり湯船につかり、首、手首、足首などを温めてスムーズな血流を促すこと。また軽い運動、規則正しい生活、バランスの取れた食生活なども有効だそうです。寒暖差のある時期ですが、どちらにも陥らないようにして、紅葉の季節を元気に迎えるようにしたいですね。(松山)

皆様には故郷がありますか？私は生まれも育ちも東京ですが、父の故郷が新潟県十日町市で、幼い頃から毎年、盆と正月には家族で訪れ、親戚達とともに祖父母を囲んで楽しく過ごしていました。しかし、今では祖父母も他界し家も取り壊し、帰る場所が無くなり皆で集まることも叶わず寂しく感じています。先月、叔母の葬儀があり久し振りに十日町へ行きましたが、駅に降り立った瞬間に、昔吸った空気の匂いが懐かしく、のんびりとした街並みも心地よく癒されました。今度は昔遊んだ思い出の場所を歩いたりしながらゆっくり観光をして、私の大切な故郷を存分に味わいたいと思っています。皆さんの地域には素晴らしい自然、場所、伝統、歴史、食そして人と人とのつながりなどがあります。誇りに思い地域のためにシルバー人材センターでご活躍ください。(高木)

安全就業スローガン

「いつまでも 働く喜び 無事故から」

チエブクロー反射缶バッジ

安全就業グッズ、普及啓発グッズとして

■商品No.012 チエブクロー反射缶バッジ

最小製作量：100個～、100個単位

100個 本体価格：@ 490円(税別)

200個～ 本体価格：@ 390円(税別)

500個～ 本体価格：@ 300円(税別)

1000個～ 本体価格：@ 230円(税別)

サイズ：直径54mm

納期：約4週間

・クリップピン付

・OPP袋入り



絵、文字以外の地の部分が反射します。
※反射缶バッジは、背景部分が反射する為、
背景色を入れることができません。

チエブクロー缶バッジ

普及啓発グッズ、名札代わりにお勧め